

記者発表資料

国道20号「ほううんじばし法雲寺橋」に関する応急復旧の見通しについて ～11月末までに通行止めを解除します～ 【第16報】

台風19号の影響に伴う橋脚沈下により、路面段差が生じた国道20号「ほううんじばし法雲寺橋」について、専門家の意見を踏まえて検討を行った結果、応急仮設橋を活用して復旧工事を行い、11月末に通行止めの解除を行う見込みとなりましたので、お知らせします。

今後、応急復旧の実施にあたり、一日も早い通行止め解除を目指して、基礎の状況を確認の上、安全確保の観点から定期的な計測等を行いながら、工事を進めてまいります。

ご不便ご迷惑をおかけしますが、引き続きご理解のほどをよろしく願います。

○応急復旧完了（通行止め解除）見込み：令和元年11月末

※通行止め解除見込みは、天候や復旧作業の進捗状況によって変更となる場合があります。

○応急復旧方法：A1、A2橋台、P1～P5橋脚およびその上部工を活用し、P5橋脚とA2橋台の間に、応急仮設橋を設置

※車道部の応急復旧を想定、歩道部の応急復旧は検討中

※施工にあたっては、橋梁に近接するライフラインの機能が停止しないよう留意

※P6、P7橋脚は、応急復旧完了後に撤去予定

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、山梨県政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局 甲府河川国道事務所

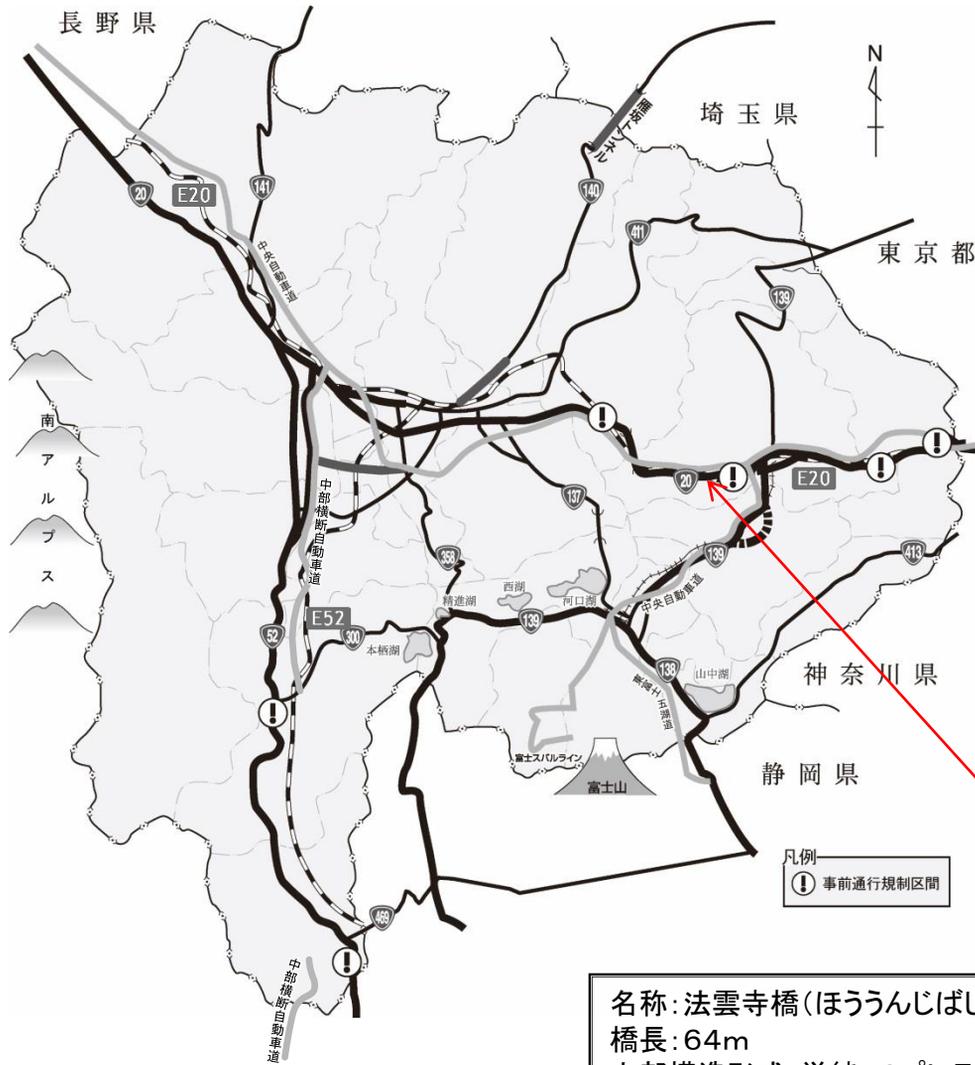
副所長 松澤 尚利（まつざわ なおとし） 055-253-5684

計画課長 香田 晃宏（こうだ あきひろ） 同上

国道20号「法雲寺橋」位置図と通行規制状況等

10月25日
12:00現在

【位置図、通行規制状況】



国道20号
大月市初狩町下初狩
法雲寺橋段差による通行止め
通行止め解除
11月末

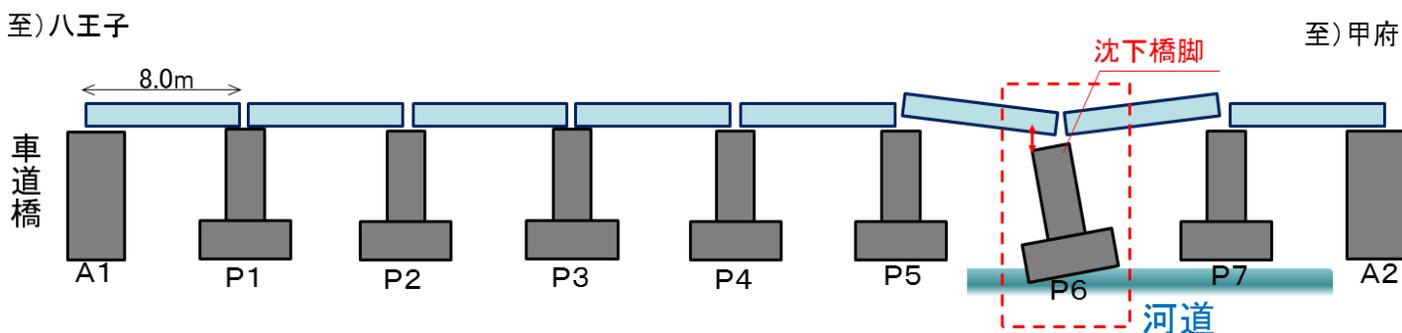
名称: 法雲寺橋(ほううんじばし)
橋長: 64m
上部構造形式: 単純PCプレテン床版橋8連
下部構造形式: 重力式橋台(RC)2基(A1、A2)
壁式橋脚(RC)7基(P1~P7)
竣工: 昭和34年1月

【法雲寺橋の被災状況】



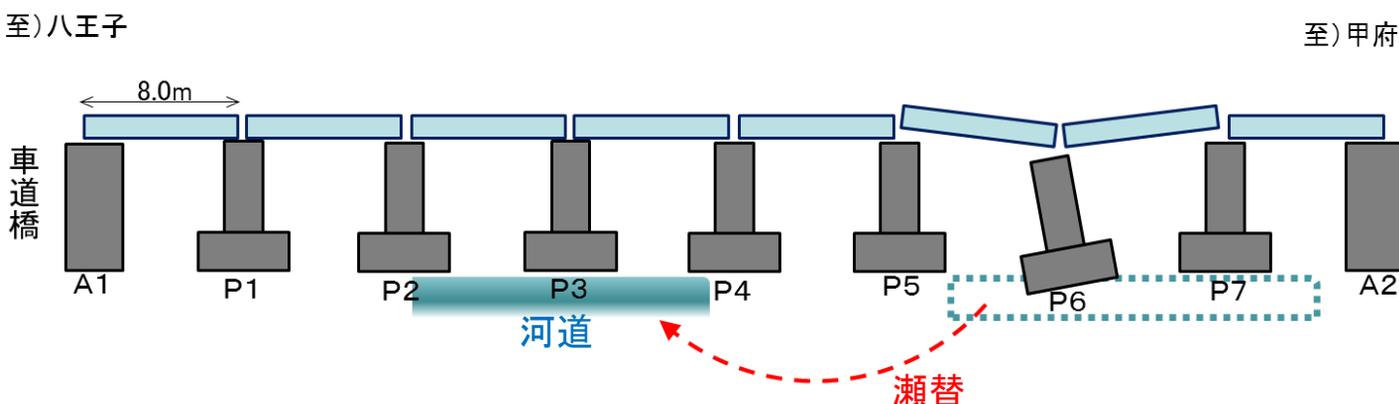
国道20号「法雲寺橋」の応急復旧イメージ（1/2）

【①応急復旧前（被災時）】

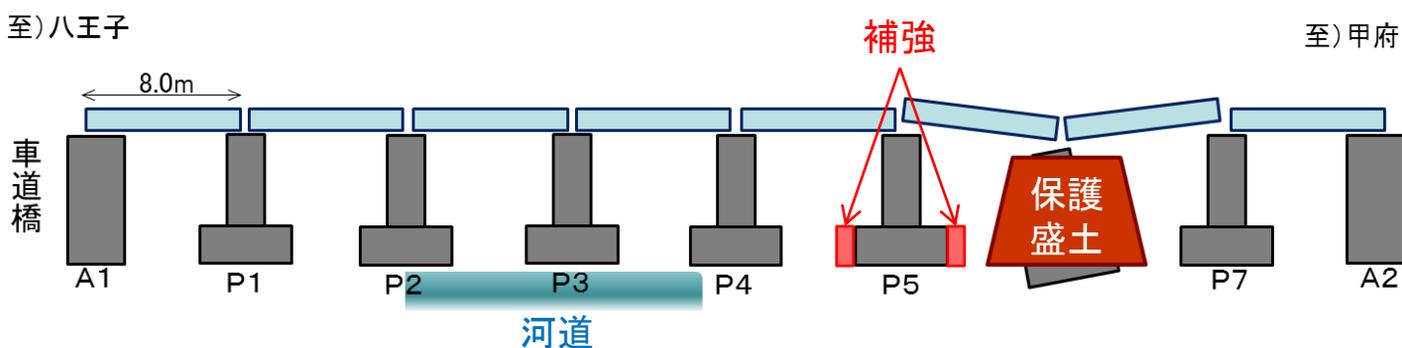


【②応急復旧中（河川瀬替による工事用ヤード確保）】

【現在、施工中】



【③応急復旧中（沈下したP6橋脚を保護盛土、P5橋脚を補強）】



※応急復旧後、保護盛土、P6及びP7橋脚を撤去予定。

※現時点の施工手順であり、今後の現地状況等で、変更する可能性があります。

名称:法雲寺橋(ほううんじばし)
橋長:64m
上部構造形式:単純PCプレテン床版橋8連
下部構造形式:重力式橋台(RC)2基(A1、A2)
壁式橋脚(RC)7基(P1~P7)
竣工:昭和34年1月

《これまでの経緯》

10月12日(土)16:00

橋脚部洗掘が原因と思われる下部工沈下により発生した路面段差のため通行止め

10月17日(木)

笹子川の水位が低下したため、橋脚部等の現地調査と
復旧工事に向けた工事用進入路の工事に着手

10月17日(木)以降

復旧工事に向け河川の瀬替工事を実施中

10月21日(月)

専門家による現地調査を実施



令和元年10月13日の状況



令和元年10月13日の状況



令和元年10月17日の状況



令和元年10月25日の状況

国道20号の通行止めに伴う主な迂回ルート (中央自動車道 勝沼IC～大月IC間)



※自転車、原付、軽車両、二輪(125cc以下)は通行出来ません。一般道を利用して迂回をお願いいたします。

代替路(無料)措置の対象となります。



大月IC～勝沼ICを越えたご利用は、代替路(無料)措置の対象とはなりません。
全区間有料となります。